

---

# ノン カピスコ・見えすぎる鏡

天野 涙

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ノン カピスコ・見えすぎる鏡

### 【Zコード】

Z9968D

### 【作者名】

天野 泪

### 【あらすじ】

美容師の裕一の店には、古い鏡がある。恩師の聰から引き継いだものだ。その鏡には、秘密があった。

祐一の店『サロンンドシュー』には、古い鏡があつた。

彼を指導してくれた恩師の聰から受け継いだものだ。

モダンな店内には、ちょっと不似合いなアールデコ調の古い鏡。

彼はその鏡の前では、自分の実力以上の力が出てくる気がしてゐる。

そして、いつの頃からだろう?

鏡の前の客の心が鏡にうつるのが見えるようになった。

ある者は、失恋したばかり。

ある者は、夫婦喧嘩してきたところ。

実際客はいろいろな思いを抱いて、店に来ていると祐一は実感するのだ。

そしてさりげなく、相手の気持ちをつかみ、  
いたわる言葉をかけて接客する。

だから彼の店はいつも繁盛していた。

祐一は聰からのこの鏡を引き継ぐ時、こう言っていた。

『いいか。祐一、この鏡から何が見えても、決して口外するな。  
お客様の為でもあり、自分の為だからね。』

聰は、鏡を祐一に引き継ぐと、数日後に不慮の事故で亡くなってしまったのだ。

今思うと、きっと彼は、この鏡で、自分の死に顔をみたのではない  
かと祐一は思つてゐる。

ある日、常連客の沙織がやつて來た。

予約は2時からなのに、少し早めに來た。何か疲れているようである。

彼女は俗に言つセレブ妻だが、夫とは上手くいっていないようだつた。

シャンプーをしてから、鏡の前に座つた沙織。  
髪をさわつた裕一は何かイヤな予感がする。  
シャンプーで洗つたはずなのに、べつたりと何かまとわりついているような手触り。

『ねえ、裕一さん。ばつさりきつちやつじ。』

『ええ、こんなにきれいな髪なのに、どうにか心境の変化?..』

つとめて明るい口調で話す裕一。  
でも彼には見えてしまつていた。

彼女が夫を殺害してきた事が・・・・。まるでブロッサムのように夫の死体を

切斷してきた彼女の姿が見えていた。

『裕一さん、どうしたの? 手が止まつてゐる・・・』

裕一を見上げた沙織の眼が光つた氣がした。  
(私が何をしてきたか、気付いたの??)

裕一は次の言葉を探していた。

その言葉によつては、鏡で自分の死に顔を見る口が早くなるのを悟つていたから。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9968d/>

---

ノン カピスコ・見えすぎる鏡

2010年10月9日15時10分発行